

HANYU カメラさんぽ



8月12日(火)

照りつける太陽のもと、小学4年生以上約40名の児童たちが「あいのまち100km徒歩の旅」に挑戦。子どもたちは、8月8日(金)に道の駅はにゅうを出発、北川辺福祉センターや加須げんきプラザなどに宿泊し、5日間で100kmを歩き続けイオンモール羽生へゴール。この夏一番の、思い出になりましたね。

かわいい人形たち!



アスリートを大切に...

8月28日(木)

ソウルオリンピック女子マラソン代表の浅井えり子さんをお招きし、市内三中学校陸上部員を対象に「ランニング・クリニック」が中央公園で行われました。みんなトップアスリートを目指して頑張れ!!



8月30日(土)

福島県喜多方市で漆器店を営む遠藤久美さんを講師に招き、井泉公民館で桐の粉人形講座を開催。桐の粉に粘土をまぜて作るこの人形で、お雛様や猫などの他に、ムジナもんや仲間たちも作成してくれました。ムジナもんたちは、市役所ロビーに展示してあります。ぜひご覧ください。

大切な命!



花の高さ約5m!

8月21日(木)

久喜市内の飲食店で突然倒れ、心肺停止になった男性の命を救ったとして、下岩瀬にお住まいの加藤恵子さんが、久喜地区消防組合から表彰状を贈られました。自分がやるしかない心肺蘇生法を実施した加藤さん、その勇気が命を救ったのですね。

8月21日(木)

大字町屋にお住まいの岡戸ひささんのお宅で、リュウゼツランが花を咲かせました。その高さ約5m! 岡戸さんは、「40年前に友人から譲り受けてから、初めて花が咲いた」とうれしそうな様子でした。



捨てる前に
考えてみよう



8月30日(火)

てんぷら油などの廃油を利用し、子ども環境講座「リサイクルろうそく作り」が市民プラザで行われました。子どもたちは、自分だけのろうそくに大満足。これを機会に再利用する気持ちを、大切にして欲しいですね。

高校野球にオリンピックと、スポーツに始終した8月も終わり、今度は「観戦から参加へ」です。空気も澄み、運動には最適の季節。各地区の運動会も真っ盛り、私も地区の運動会に1種目だけ参加しました。8月号の広報配布時に痛めた腰をかばいつつ、しかし、ついつい夢中に。やはり止めておけばよかったかな。腰痛とも筋肉痛ともつかない痛みに少しだけ後悔しています。50の大台にのり、体力の衰えを如実に感じるようになりました。後は気力だけ、予定より1日遅れてしまいましたが、この編集後記ですべて終了。いつも思うことですが、もう少し余裕をもって仕事がしたいですね。頑張らなくては。



みなさん、もし目の前で心肺停止の状態の人がいたら、どうしますか? そんな状況が、久喜市内のレストランで起きました。家族連れで訪れた男性が倒れ、心肺停止状態。その場に居合わせた加藤恵子さんは、救急講習会で学んだ心肺蘇生法を思い出し心臓マッサージを実施。その適切な処置によって、男性は一命を取り留めました。加藤さんは、救急隊が来るまでの間、周囲の人たちが静かに引いていたのが、とても悲しく感じたと言いました。逃げるか、傍観するか、行動するか、いろいろな場面で問われるその選択。きっと加藤さんは、逃げることも傍観することも出来なかったのでしょうか。命を救った彼女の勇気ある行動に、強く感動しました。